

3号機600tクローラクレーン2号機の 作動油レベル低下事象について

2015年12月24日

東京電力株式会社

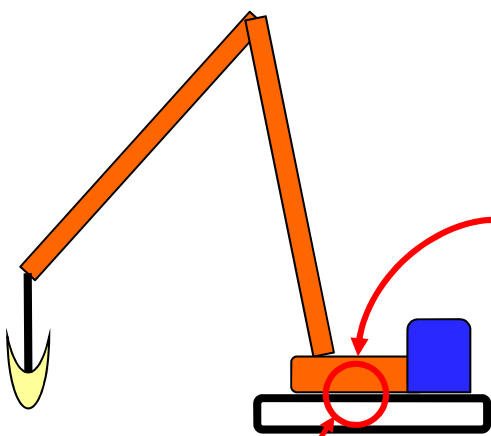


東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1. 時系列

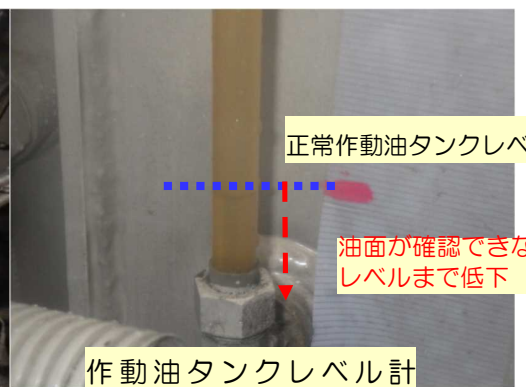
- 11/21（土）作業終了後にクローラクレーン（以下C/C）2号機本体の下部受台内に油膜が浮いた水がたまっていたことから、回収と油吸着マットの交換を実施。（グリスによるものと推定）
- 11/23（月）作動油タンクを点検し、作業油面低下を確認。クレーン油圧配管等の確認を行ったが漏えい箇所を確認できず。併せて正常作動油タンクレベルまで、約40リットル作動油を補給。（作動油タンク容量 800L）
（作動油：C/Cの本体、ブームを動かす油）



油圧配管等確認箇所



油圧配管



正常作動油タンクレベル

油面が確認できない
レベルまで低下

作動油タンクレベル計

1. 時系列

■ 11/24(火)～12/7(月)

クレーン専門メーカー指導の下、再点検を行い、漏えいがないことを再確認。当社から協力企業に詳細点検を依頼。作動油の油面が低下したC/C2号機を低線量エリア(4号機周辺ヤード)へ移動させることを条件に点検作業を協力企業が受諾。

■ 12/8(火)～10(木)、16(水)～17(木)

健全なC/C1号機を用いて、使用済燃料プール(以下SFP)内調査を実施(含む準備作業)。

■ 12/11(金)～12/15(火)

C/C1号機を用いて、C/C2号機の移動に必要なヤードに保管中の機器材の移動を実施。

■ 12/15(火)～12/19(土)

C/C2号機の移動に必要なSFPから撤去した瓦礫の搬出を夜間に実施。

■ 12/18(金)～12/22(火)

C/C1号機を用いて、SFP周辺機材の移動を実施。

<今後の予定>

■ H28/1/5(火)～ C/C2号機移動準備

■ H28/1/12(火)～ C/C2号機を低線量エリアへ移動・点検開始予定

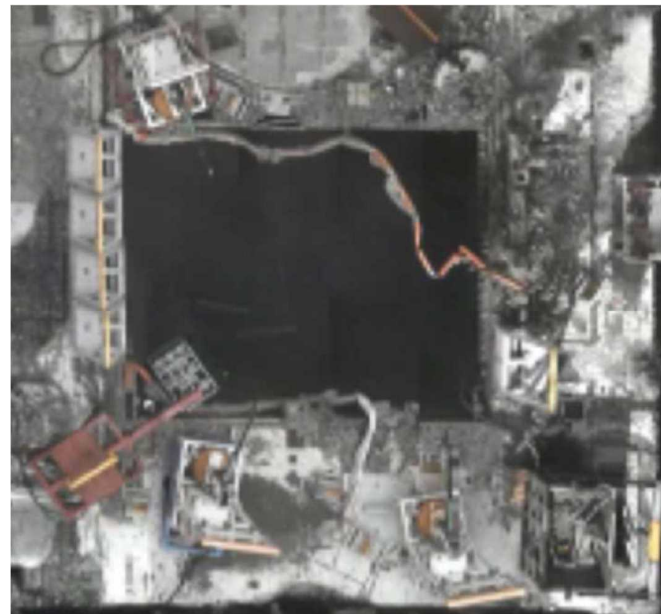
2. 工程について

<工程の遅延理由>

- SFP内調査及びSFP周辺機材撤去が完了しなければ、SFP周辺瓦礫撤去作業が実施できないエリアがあるため、C/C1、2号機を用いて平行してこれらの作業を行う予定であった。しかしSFP内調査及びSFP周辺機材撤去に使用する予定であったC/C2号機に不具合が生じたため、1台のC/Cで当面の作業を行う必要が生じた。

<対応>

- C/C1号機で行うSFP周辺瓦礫撤去作業前に、C/C1号機を用いてC/C2号機の修理対応(機器材の移動等)、C/C2号機を使用する予定だったSFP内調査及びSFP周辺機材の撤去を先行して実施。年内に完了。
- 上記作業完了後の年明けから、C/C1号機で実施予定のSFP周辺瓦礫撤去作業を実施予定。
- C/C2号機は低線量エリア(4号機周辺ヤード)に移動し、点検予定。



(2015.11.3撮影)

3. 工程案

		11月		12月				1月				2月			
		3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W
変更前	C/C1号機作業	オペフロ除染		スキマサージタンク蓋撤去/新規蓋設置								遮へい体設置			
	C/C2号機作業	SFP内調査		SFP周辺機材撤去								遮へい体設置			
変更後	C/C1号機作業	オペフロ除染		SFP内調査		SFP周辺機材撤去		スキマサージタンク蓋撤去/新規蓋設置		遮へい体設置					
	C/C2号機作業	作業休止		C/C2号機の移動に必要な機器材移動		修理対応		SFP周辺瓦礫撤去・除染		遮へい体設置					

(参考) クローラクレーンの配置

- 1F3には原子炉建屋南側と西側に1台ずつC/Cを配置し、作業を実施。

